

2020



ゴール
ドッジ

2020年度ゴールドッジMIX大会 2nd Round 報告書

2020年12月27日

日本ドッジビー協会

開催要項

大会名： 2020年度 ゴールドタッチM I X大会
2020Season GoalDodge MIX Tournament

主催：一般社団法人日本ドッチビー協会

日程：2020年11月29日（日）

場所：MIFA Football Park 豊洲 江東区豊洲 6-1-23

協力：株式会社クラブジュニア

株式会社ssbee

協賛：ミカサ株式会社

ワタミ株式会社

東京キリンビバレッジサービス株式会社



競技方法・参加チーム

- 部門構成：M I X 部門（チームに女性および中学1年生以下の選手が複数所属）
- 対戦形式：総当たり戦
- 試合人数：5人 対 5人（常に、女性および中学1年生以下の選手が1名以上出場）
- 試合時間：前半7分 後半7分 合計14分

参加チーム：合計4チーム 48名

チーム名	人数	主構成
style	11人	クラブチーム 20代
山葵	15人	社会人チーム 30～40代
NDCヤソップ	9人	クラブチーム 10～40代
チャレンジファイターズ	13人	親30～40代 + 小学3年生

大会スケジュール

ゲームNO	Time	対戦	対戦
1G	15:20~15:40	style	山葵
2G	15:45~16:05	チャレンジファイターズ	NDCヤソップ
3G	16:10~16:30	style	NDCヤソップ
4G	16:35~16:55	山葵	チャレンジファイターズ
5G	17:00~17:20	style	チャレンジファイターズ
6G	17:25~17:45	山葵	NDCヤソップ

大会結果・表彰

順位	チーム名	勝敗	勝点	得失点差
優勝	style	3勝0敗	9	+21
第2位	NDCヤソップ	2勝1敗	6	+11
第3位	山葵	1勝2敗	3	-1
第4位	チャレンジファイターズ	0勝3敗	0	-31

✓ 優勝チームを表彰

- 賞品：【MIKASA×KUMATANドッチビー】×2

MIKASAと若槻千夏さんプロデュース「クマタン」とのコラボドッチビーです。

公式ディスクですので、DBJA主催公式試合での使用も可能です。



- ワタミお食事500円券×人数分

✓ 個人 ゴール賞/ブロック賞を表彰

- 賞品：【MIKASA×KUMATANドッチビー】×1



参加賞

- ドッチビー270
- ワタミ割引券
- KIRIN LOVES SPORTS 555ml



スコアシートと個人成績の導入

今大会より、各チームにスコアシートの記録をお願いし、個人成績（ゴール数、ブロック数）集計を導入しました。各成績は、以下の通りです。

得点王ランキング

順位（ゴール数）	選手名（チーム名）
第1位 14ゴール	乙川 統央（style）
第2位 7ゴール	清水 穰治（style）
第3位 6ゴール	國安 大樹（NDCヤソップ）
第4位 5ゴール	三浦 奏（山葵） 志田原 光（NDCヤソップ）
第6位 4ゴール	江川 藍未（NDCヤソップ）
第7位 3ゴール	高橋 天翔（NDCヤソップ） 大杉 健斗（NDCヤソップ）
第9位 2ゴール	稲垣 健太（style） 吉田 誠（style） アンドレ シュツツ（山葵）



1人で14得点を積み重ねたstyleの乙川統央選手が得点王となりました！おめでとうございます！山葵戦で3得点、NDCヤソップ戦で1得点、チャレンジファイターズ戦で10得点と毎試合の得点で2位と7ポイント差も付けての受賞です！

すでに会場にて得点王の賞品、ミカサのくまたんディスクを進呈させていただいております。

また、女性選手のトップはNDCヤソップの江川 藍未選手が4得点！キレとスピードのあるスローで相手キーパーを翻弄しました！

スコアシートと個人成績の導入

今大会より、各チームにスコアシートの記録をお願いし、個人成績（ゴール数、ブロック数）集計を導入しました。各成績は、以下の通りです。

ブロック王ランキング

順位 (ブロック数)	選手名 (チーム名)
第1位 14ブロック	松島 民世 (NDCヤソップ)
第2位 8ブロック	三浦 奏 (山葵)
第3位 7ブロック	志田原 光 (NDCヤソップ) 愛甲 隆行 (チャレンジファイターズ) Anthony Weiss (山葵)
第6位 6ブロック	中川裕也 (NDCヤソップ) 金邊 穂純 (style)
第8位 5ブロック	高橋 天翔 (NDCヤソップ)
第9位 4ブロック	乙川 統央 (style) 稲垣 健太 (style) 高間 一晃 (山葵) 鳥山智佳 (NDCヤソップ)
第13位 3ブロック	國安 大樹 (NDCヤソップ) 大杉 健斗 (NDCヤソップ) 吉田 誠 (style) 佐藤 遼平 (style) 山川 秀孝 (チャレンジファイターズ) 山川 亜紀子 (チャレンジファイターズ)



今大会のブロック王はNDCヤソップの守護神、松島民世選手が14ブロックの大活躍で受賞！しかも、山葵戦とstyle戦の2試合のみで積み重ねた数字です。接戦となったこの2試合を盛り上げたのは、松島選手のセービング能力によるものだったのではないのでしょうか！？

ゴールドタッチにおける守備力の重要性が高まってきている中、各チーム良いGKを置けるかどうか勝利への鍵かもしれません！

GAME1

style 6 - 2 山葵

styleの強力な攻撃陣が前半4分までに4得点を奪いペースを握る。山葵も前半1点を返し後半へ。

後半序盤はお互い譲らず堅いディフェンスに耐えつつも、自力で勝るstyleがダメ押しの2得点をあげ試合を決めた。styleは乙川選手、清水選手が3点ずつを決め順調な滑り出しを見せた。



GAME2

チャレンジファイターズ 0 - 12 NDCヤソップ

前半からの猛攻でNDCヤソップが得点を積み重ねる。チャレンジファイターズは、初戦の緊張と体格差もありませんがなかなかディスクを繋げられない。しかし、後半はチームとしての動きが出てきて、強豪NDCをわずか4点に抑える健闘ぶり。

「笑顔！」「繋ごう！」などポジティブな声が試合全体を通して終始聞かれ次に繋がる初戦に。

なお、1stラウンド得点王のNDCヤソップ國安選手が5得点の大活躍！



GAME3

style 6 - 4 NDCヤソップ

長いライバル関係チームの対戦は、その関係性通りどちら譲らず同点で前半を終了。後半になり、プレーペースが早くなってくると走力で勝るstyleの展開に。欲しいところで素晴らしいシュートが決まったstyleがNDCヤソップに競り勝ち2連勝。

GAME4

山葵 5 - 1 チャレンジファイターズ

開始早々、山葵は立て続けに2つのゴールが決まり流れが傾くかと思いきや、前半3分にチャレンジファイターズの愛甲荘介選手の個人としてもチームとしても今大会初ゴールが決まり競る展開に。

リズムを掴んだのかチャレンジファイターズの粘り強い守備で再三の山葵の攻撃をその後2得点に抑え後半へ。後半はお互いゴール前まで攻め上がるもなかなか得点を奪えず5-1で山葵の勝利。チャレンジファイターズは1stラウンドよりも着実にレベルアップした姿を見せた。



GAME5

style 16 - 1 チャレンジファイターズ

ここまで負けがない王者styleに対してチャレンジファイターズがどう挑むかが注目された1戦は、チャレンジファイターズの愛甲隆行選手が開始32秒で電光石火の先制点を挙げる。

このまま勢いがつくかと思われたが、逆にstyleの闘志に火をつけてしまったかここから怒涛のゴールラッシュ！乙川選手は1人で11得点と得点王を揺るぎないものにした。チャレンジファイターズは立ち上がりの際をついた見事のゴールがあったものの、この日3試合目かつ気温の下がる夕方のゲームということもあり疲れも出たのか、styleの波状攻撃を止めることが出来なかった。

styleは1st & 2ndラウンド合わせても無敗の6連勝で完全優勝を飾った！

GAME6

NDCヤソップ 6 - 5 山葵

今大会の最終戦は、共に1勝1敗同士の2位を争う一戦となった。1stラウンドでは、山葵が接戦を制して勝利したが、前回に続いて連勝となるかNDCヤソップが意地を見せるか。

前半、細かいパスワークから相手ゴール前に迫ったNDCが立て続けに2点を奪取。山葵は1点を返すものの前半終了間際に大杉選手の追加点で前半は3-1でNDCがリード。後半はお互い堅い守備でなかなか得点を許さない展開に。しかし、シュートの本数はあるもののなかなか決めきれない山葵に対し、NDCがゴール前で確実に決めて勝負あり。6-5の大接戦でNDCヤソップが見事な勝利。



講評

先月に引き続き行われましたゴールドッチミックストーナメントのセカンドラウンド！やや肌寒い環境となりましたが、熱いゲームが展開されました。

優勝は、10月の1stラウンドに続きstyleが圧巻の全勝優勝！僅差の試合が多くなるも最後はきっちり引き離し勝利をものにしました。絶対王者としてこれなら様々なチームのチャレンジを受けていってください！

大会中は、前回と同様に検温やアルコール消毒など感染対策に皆様ご協力をいただき大変スムーズな運営をさせていただくことができました。ありがとうございました！また、スポンサー企業様にも賞品や参加賞のご提供をいただき、参加者の皆様からも喜びの声をいただきました。

今回、スタッフは全員常にマスクを着用し進行をさせていただきましたが、様々な面でコロナ禍における大会運営の在り方について我々DBJAも学ばせていただき大変良い機会となりました。

2月にもゴールドッチの大会を予定しております。また皆様にご協力いただきながらとなりますが、是非多くの選手のご参加をお待ちしております！



